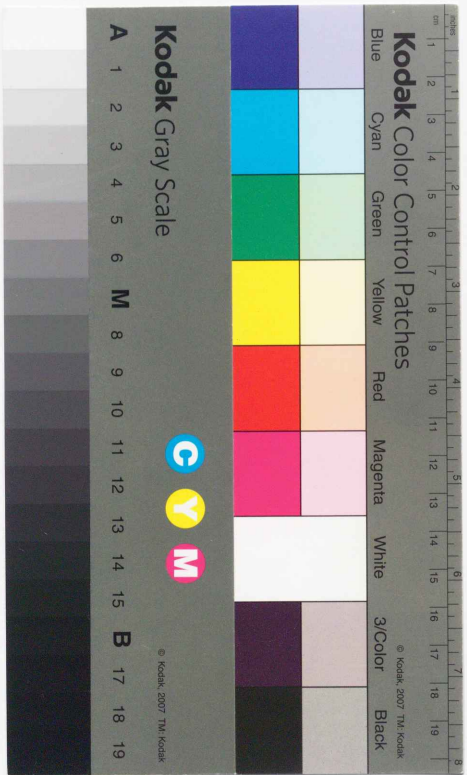


平成30年3月

各務原市資料調査報告書 第44号

旧中山道鵜沼宿本陣桜井家文書日録

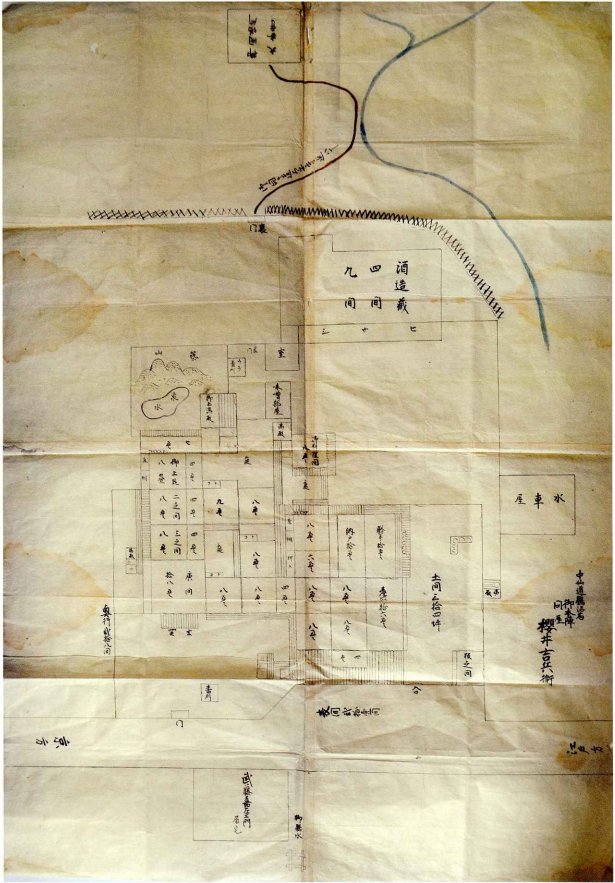
各務原市歴史民俗資料館



















## はじめに

各務原市歴史民俗資料館では、平成23年3月刊行の「旧鶴沼宿本陣桜井家文書 I」に始まり、桜井家に残されていた史料について整理を進め、刊行してきました。

「旧鶴沼宿本陣桜井家文書」は、江戸時代を通じ鶴沼村の庄屋および鶴沼宿の本陣・問屋を勤めた桜井家に伝わる文書群を総称したもので、平成12年9月に各務原市へ永久寄託されたものです。史料の所有者である桜井美保子氏のご快諾を得、各務原市資料調査報告書として、これまで7冊の「旧鶴沼宿本陣桜井家文書」を刊行しています。

寄託された文書数は218件、総点数459点にのぼります。桜井家文書には、宿場運営にかかわる様々な内容のもの、鶴沼村における年貢や争論等村の運営の記録などが含まれています。「旧鶴沼宿本陣桜井家文書」に収録した諸史料からは、折節の宿場や鶴沼村の諸情勢はもちろん、本陣を勤める桜井家において宿泊者や知人との書簡などの中から収集された、外国船の来航や大地震の発生なども窺え、地域史の解明にとどまらず、その時代の政治や社会の状況を検証する貴重な資料ともなっています。

本書は、これまで刊行してきた資料調査報告書の編集において、桜井家文書の整理分類のすずめ、史料目録として編集したものです。目録には、既刊の資料調査報告書での収録号数も記載しており、あわせて郷土史研究に広く活用されることを目指しました。

末尾となりましたが、これまで桜井家文書の解読と開設にご尽力いただきました、岐阜女子大学の辻公子先生はじめ、関係各位のご理解ご協力をいただきましたことに感謝します。

平成30年3月

各務原市教育委員会

# 目 次

口 絵

はじめに	1
例 言	3
史料目録	4

- 口 絵 1 桜井家間取り図（年月未詳、史料216）
- 口 絵 2 万代記（表紙・裏表紙、史料124）
- 口 絵 3 万代記（三ツ塚の図、寛政12年（1800）8月）
- 口 絵 4 万代記（道中奉行使節の記事、享和元年（1801）4月）
- 口 絵 5 万代記（道中奉行使節の宿改の記事、寛政12年の改書）
- 口 絵 6 万代記（楽宮通行のための準備の記事、文化元年（1804）3月）
- 口 絵 7 万代記（幕府天文方伊能忠敬一行の記事、文化6年（1809）10月）

# 例 言

- 1 本書は、旧中山道鶴沼宿で本陣を勤めた桜井家に伝来していた古文書群の目録である。史料の名称は「旧中山道鶴沼宿本陣桜井家文書」であるが、以下「桜井家文書」と略して記す。
- 1 目録は、「番号」「枝番」「史料名」「年代」「西暦」「形態」「数量」「作成者」「宛先」「分類」「備考」の順に記した。
- 1 史料名は、その表題によった。表題のない史料については[ ]で表題をつけた。また内容を表すため、( )内に「何々につき」と付記したものもある。
- 1 年代は史料に記載されているものを取り、推定できるものは( )で記した。
- 1 西暦年を年代欄のすぐ後に記したが、これは正確な旧暦西暦の換算に基づくものではない。
- 1 作成者・宛先は、できる限り史料に記された地名・肩書き・人名を記した。連名の場合はできる限り全てを記入するようにしたが、省略して「ほか 名」と記した史料もある。㊦は省略した。
- 1 史料の形態は、冊物では縦・横長・横半・綴、一枚物では一紙・切紙とし、(統紙)と付記した史料もある。近代の史料の場合、(野紙)と付記した史料もある。専用の用紙が使われている史料には、その名称を記した場合もある。絵図等は、大きさを数字で記入した(縦×横、単位はcm)。
- 1 史料の点数は、一史料1点である。枝番の史料は1点として数え、綴の史料は綴自体を1点として数えるようにした。そのため、枝番欄には丸数字を記し、区別した。
- 1 分類は、各務原市文書史料目録の分類項目に準拠した。
- 1 備考欄には、史料に関する特記事項のほか、下記のような既刊の各務原市資料調査報告書(報告書と略す)に収録書籍を記した。

各務原市文書史料目録2(文書史料目録2):報告書第2号  
各務原市文書史料目録3(文書史料目録3):報告書第3号  
桜井家文書Ⅰ:報告書第34号  
桜井家文書Ⅱ:報告書第35号  
桜井家文書Ⅲ:報告書第36号  
桜井家文書Ⅳ:報告書第37号  
桜井家文書Ⅴ:報告書第38号  
桜井家文書Ⅵ:報告書第39号  
桜井家文書Ⅶ:報告書第42号
- 1 史料の表題に「差別用語」が使われている場合でも、歴史的用語としてそのまま使用した。
- 1 口絵写真は、すべて「桜井家文書」の写真である。



# 史料目録

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
1		有君様御通行之節御作事方御用人馬継立書上帳	天保3年2月	1832	縦	1
2		乍恐奉願上候御事(加納宿助郷村々御繰合につき)	天保5年10月	1834	一紙 (統紙)	1
3		日光例幣使御参向人馬継立高書上帳	天保8年4月4日	1837	縦	1
4	1	辰之大目録	天保15年	1844	縦	1
4	2	[古ぬか・米代等書付]			縦	1
5		午之大目録	弘化3年	1846	縦	1
6		午年勘定目録	弘化3年12月	1846	縦	1
7		申之大目録	嘉永1年	1848	縦	1
8	1	酉歳勘定目録帳	嘉永2年12月	1849	縦	1
8	2	不同免引米	未(弘化4年)12月	1847	縦	1
9		鶴沼宿小役遣書上帳	嘉永4年11月	1851	縦	1
10		他行者取調書上帳	嘉永3年2月	1850	縦	1
11		鶴沼宿御用状箱持人足掛分書上帳	嘉永4年11月	1851	縦	1
12		中山道鶴沼宿宿内旅籠屋別	安政5年3月	1858	卷子 29.0×469.4	1
13		長崎奉行大久保豊後守様御泊り下宿帳	文久2年閏8月10日	1862	横長	1
14		文久弍年 戌年勘定大目録	文久2年11月	1862	縦	1
15		松平能登守様御人数御宿割帳	慶応2年7月22日	1866	横長	1
16		梶井宮様御下宿 大御番頭大久保出雲守様御昼休御下宿帳	丑3月21日		横長	1
17		御上洛御供立 御浪士人別旅ご割渡シ帳	亥年(文久3年か) 2月23日	1863 <sup>カ</sup>	横長	1
18		岩村様御家中旅籠割渡帳	寅7月22日		横長	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
中山道 鶴沼宿		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
尾州御領 中山道鶴沼宿 年寄 坂井銀右衛門・問屋 桜井岡 右衛門	飯原芳蔵、木村忠蔵	交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
中山道 鶴沼宿		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
西町 立会所		貢租	文書史料目録2
		商業	
西町 立会所		貢租	文書史料目録2
三千石 当番庄や		貢租	文書史料目録2
西町 立会所		貢租	文書史料目録2
西町分		貢租	「未歳勘定目録」(弘化4年)・「申 歳勘定目録」(嘉永元年)がともに綴 じてある、文書史料目録2
		貢租	
中山道 鶴沼宿		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
鶴沼村 組頭 柳蔵・坂井伝吉、 庄屋 桜井吉兵衛	東条七四郎様 御陣 屋	交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
中山道 鶴沼宿		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
		交通	鶴沼宿家並図、貼付紙あり、裏打ち あり、文書史料目録2
鶴沼宿 御本陣 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
庄屋 桜井吉兵衛		貢租	文書史料目録2
御本陣 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
鶴沼宿 控		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
桜井吉兵衛 控		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
御本陣 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
19		辰巳二ヶ年分 助郷休泊料入不足取調帳			縦	1
20		大坂御加番 鳥居丹波守様下宿割帳	7月23日		横長	1
21		三日月、土井、鯖江、森、四藩札宿帳場 旅籠割渡帳	7月～8月		横長	1
22		借用申請金之事	天保5年2月	1834	一紙 (続紙)	1
23		今度王政御復古ニ相成御政事向都而御所 様まで御取扱遊バサレ候間此段相心得申 べき事	慶応4年1月	1868	19.4×103.0	1
24		赤報隊印鑑	(慶応4年1月)	(1868)	15.4×5.1	1
25	1	池御普請諸入用取調帳	明治4年11月より	1871 より	横長	1
25	2	砂先川			一紙	1
26	1	乍恐奉願上候御事(悴藤治郎勘当につき 願書)	西(天保8年)2月	1837	縦	1
26	2	乍恐御尋ニ付奉申上候御事(人数調べ書 上げ)	西(天保8年)2月	1837	縦	1
26	3	乍恐御達奉申上候御事(人数調べ)			縦	1
26	4	覚(犬山表犬飼藤九郎方より置置く夫食・ 伝馬飼料等引取の件につき願書)	西(天保8年) 1月26日	1837	縦	1
26	5	乍恐奉再願候御事(犬山表犬飼藤九郎方 より夫食手当買請につき)	西(天保8年) 1月25日	1837	一紙	1
26	6	乍恐御達奉申上候御事(犬山表犬飼藤九 郎方より買請分引取につき)	申(天保7年)11月	1836	一紙	1
26	7	乍恐御達奉申上候御事(家一軒焼失につ き)	申(天保7年) 1月9日	1836	一紙	1
26	8	一札(年貢米取調につき)			縦	1
26	9	乍恐奉願上候御事(犬山表犬飼藤九郎方 より買請分引取につき)	申(天保7年)11月	1836	縦	1
26	10	乍恐奉願上候御事(犬山表犬飼藤九郎方 より買請分引取につき)	申(天保7年)11月	1836	一紙	1
26	11	御達申上候御事(当申年年貢米御蔵納につ き)	申(天保7年)11月	1836	一紙	1
26	12	乍恐奉願上候御事(当村小百姓犬山にて 米麦買求るにつき)	申(天保7年)10月	1836	一紙	1
26	13	乍恐御達奉申上候御事(合戸池の溺死体 につき)	申(天保7年) 9月8日	1836	一紙	1



作 成 者	宛 先	分類	備 考
		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
桜井		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
借主 山田林右衛門 ほか23名	宿村 御役人中	金融	文書史料目録2、桜井家文書 I
官軍 赤報隊 執事		支配	桜井家文書 I (桜井家文書の中の赤報隊史料について)、文書史料目録2
		支配	各務原市文書史料目録2
桜井辰左衛門		土木	文書史料目録2、桜井家文書 I
桜井辰左衛門		交通	文書史料目録2、桜井家文書 I
右村 庄屋 桜井岡右衛門		家業	桜井家文書 I
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	御小人目付 佐藤元 四郎・北川佐吉	村政	桜井家文書 I
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	史料破損
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	桜井家文書 I
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	桜井家文書 I
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門、 仕埋 安左衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	桜井家文書 I
右村 組頭 長三郎、庄屋 桜 井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書 I
佐兵衛 ほか10名		貢租	桜井家文書 I
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	桜井家文書 I
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	3枚、桜井家文書 I
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	貢租	「控」とあり、桜井家文書 I
鶴沼村 庄屋 岡右衛門	水野	商業	控、桜井家文書 I
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書 I

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	14	乍恐御願奉申上候御事（困窮のため当暮二百両拝借いたしたきにつき）	未(天保6年)11月	1835	一紙	1
26	15	乍恐奉願上候御事（近來中山道通行薄く一同難渋につき）	申(天保7年)4月	1836	縦	1
26	16	乍恐奉願上候御事（当村百姓連々困窮難渋につき）	申3月(天保7年)	1836	縦	1
26	17	乍恐御達申上候御事（犬山太三郎方に盜賊忍入るにつき）	申3月(天保7年)	1836	縦	1
26	18	乍恐奉願上候御事（当村百姓連々困窮難渋につき）	申3月(天保7年)	1836	縦	1
26	19	当申年より宗門帳奥書御案文写			縦	1
26	20	乍恐奉願上候御事（犬山和泉屋弥五右衛門方より買請米引取につき）	申(天保7年)3月6日	1836	一紙	1
26	21	覚（鶴沼村西組田畑年貢等につき）			縦	1
26	22	乍恐御達奉申上候御事（古市場組源兵衛方に盜賊忍入るにつき）	申(天保7年)1月	1836	縦	1
26	23	乍恐奉願上候御事（実子無きにつき高田村甚太郎梓平吉と養子縁組願い）	申(天保7年)2月	1836	一紙	1
26	24	乍恐奉願上候御事（入歯細工所の看板出置きたきにつき）	巳(天保4年)3月	1833	一紙	1
26	25	乍恐御達奉申上候御事（鶴沼宿年寄山田孫左衛門掛川宿にて病死につき）	巳(天保4年)4月	1833	一紙	1
26	26	乍恐奉願上候御事（尾州葉栗郡村久野村儀右衛門、鶴沼村直右衛門跡相続百姓致したきにつき）	巳(天保4年)3月	1833	縦	1
26	27	被盜取候諸色覚	辰(天保3年)12月23日	1832	縦	1
26	28	乍恐奉願上候御事(水車による米麦搗の年限明につき向こう5年間延長願い)	巳(天保4年)2月	1833	縦	1
26	29	覚（辰年流木御用の節の休泊木錢帳の件につき）	巳(天保4年)2月	1833	一紙	1
26	30	乍恐奉願上候御事（西町分年貢高散田銘々持高書上）			一紙	1
26	31	乍恐御願奉申上候御事（鶴沼村掟米高免願いにつき）	未(天保6年)11月	1835	縦	1
26	32	乍恐御達奉申上候御事（当村卯作より犬山広瀬屋武助・北野屋常右衛門に諸色売払につき）	未(天保6年)11月	1835	一紙	1
26	33	乍恐御達奉申上候御事（質物盜賊物吟味につき）			一紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
問屋・庄屋兼 桜井岡右衛門、 年寄・組頭兼 坂井銀右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚、下書、奥書：庄屋 国定市兵衛、 桜井家文書Ⅰ
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門 ほか8名	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅰ
鶴沼村 百姓惣代 平八 ほか 10名	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅰ
右村 庄屋 市郎兵衛・孫九郎		社会	桜井家文書Ⅰ
鶴沼村 百姓惣代 平八 ほか10名	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅰ
		村政	桜井家文書Ⅰ
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	桜井家文書Ⅰ
		貢租	桜井家文書Ⅰ
鶴沼村 庄屋 国定市兵衛	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅰ
右村 庄屋 桜井岡右衛門		家	2枚、桜井家文書Ⅰ
鶴沼村 蜂屋	水野篤助様 御陣屋	家業	2枚、奥書：鶴沼村庄屋惣代 桜井岡 右衛門、桜井家文書Ⅰ
右村 庄屋 桜井岡右衛門、年 寄 坂井銀右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚、桜井家文書Ⅰ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	家	桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門・ 野口定兵衛、年寄 坂井銀右衛 門・山田孫左衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	家業	奥印：右村庄屋惣代 山田甚右衛門
鶴沼村 留木裁許人惣代 桜井 岡右衛門・林佐左衛門	円城寺 御役所	支配	6枚、桜井家文書Ⅱ
		貢租	2枚
桜井岡右衛門		貢租	
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	
		社会	3枚

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	34	乍恐御達奉申上候御事（娘いしへ拾一枚持参御届につき）	未(天保6年) 9月8日	1835	一紙	1
26	35	乍恐御達奉申上候御事（旅人二人不審な行いあるにつき）	未(天保6年) 8月29日	1835	縦	1
26	36	乍恐御達奉申上候御事（預り品盗品につき北方陣屋にて吟味につき）			一紙	1
26	37	乍恐御達奉申上候御事（卯作ほか2名行方不明につき）	未(天保6年) 9月4日	1835	一紙	1
26	38	乍恐御達奉申上候御事（鳩十羽種鳩に致したきにつき）	未(天保6年)9月	1835	一紙	1
26	39	乍恐奉願上候御事（卯作より犬山広屋武助・北野屋常右衛門に売払い品の始末につき）	未(天保6年)閏7月	1835	縦	1
26	40	乍恐御達奉申上候御事（卯作ほか2名行方不明につき）	未(天保6年) 8月14日	1835	一紙	1
26	41	乍恐奉願上候御事（卯作より犬山広屋武助・北野屋常右衛門に諸色売払い一件につき）	未(天保6年)閏7月	1835	縦	1
26	42	乍恐御達奉申上候御事（呼出の三人全快につき）			一紙	1
26	43	乍恐御達奉申上候御事（いし家出、岐阜方役人召捕につき）			一紙	1
26	44	[御用状継立遅滞の件及びおおいし召捕の件につき控え]	未(天保6年)閏7月	1835	縦	1
26	45	乍恐御達奉願上候御事（卯作家財諸色を犬山広屋武助・北野屋常右衛門に売払うにつき）	閏7月13日 (天保6年)	1835	縦	1
26	46	乍恐御達奉申上候御事（諸色書上）			縦	1
26	47	[御用状継立の件及び家三軒倒壊の件につき控え]	未(天保6年)閏7月	1835	縦	1
26	48	小伊木ちゃんかかれ一件控	辰閏3月(11月カ) ～未6月(天保3年 ～6年)	1832～ 1835	縦	1
26	49	乍恐奉願上候御事（山名村□七・長兵衛へ預置く大豆引取たきにつき）	未(天保6年)5月	1835	一紙	1
26	50	乍恐御尋ニ付御達旁奉願上候御事（鶴沼宿・落合宿・中津川宿への拝借金の返上用捨につき）	未(天保6年)3月	1835	縦	1
26	51	乍恐御尋ニ付御達旁奉願上候御事(旅籠屋儀平・久右衛門絶家につき拝借金の返上用捨願い)	未(天保6年)3月	1835	縦	1
26	52	乍恐御達奉申上候御事（太田宿から小牧宿まで御用状継立につき）	午(天保5年) 12月19日	1834	一紙	1
26	53	覚（無宿者召連の節の駕籠指立て覚）	12月19日		一紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
		社会	
		社会	
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	家業	
鶴沼村 組頭 坂井銀右衛門、 庄屋 桜井吉兵衛	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 組頭 坂井銀右衛門、 庄屋 桜井吉兵衛	水野篤助様 御陣屋	社会	
		村政	
	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋、 岐阜 人別定廻り 青木六助、隠密廻り 方 太田茂太夫	村政	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門、組 頭 坂井銀右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	
		社会	
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	
		社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 大竹新左衛門		商業	
鶴沼宿 年寄惣代 安右衛門、 問屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	下書、桜井家文書Ⅱ
右宿 年寄惣代・問屋 桜井岡 右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	下書
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	54	乍恐奉願上候御事（消失旅籠屋重建につき拝借金下置願い）	10月（天保5年）	1834	縦	1
26	55	乍恐御請書奉差上候御事（友右衛門ほか6名遠方留につき）	午10月（天保5年）	1834	一紙	1
26	56	[百姓番人と交わり芝居・狂言等致すこと禁止につき請書]	午（天保5年）9月	1834	縦	1
26	57	乍恐御達奉申上候御事（公儀御用・諸家諸大名の旅籠銭につき）	午（天保5年）9月	1834	縦	1
26	58	乍恐御達奉申上候御事（大伊木九兵衛病氣につき）	午（天保5年）9月	1834	縦	1
26	59	乍恐奉願上候御事（南宮社人後藤信濃病死、弟跡職相続につき）	午（天保5年）8月	1834	縦	1
26	60	乍恐御達奉申上候御事（村内困窮者への施しものにつき）	午（天保5年）8月	1834	一紙	1
26	61	乍恐御達奉申上候御事（儀兵衛居屋敷に盗賊忍入につき）	午（天保5年）7月	1834	縦	1
26	62	乍恐御達奉申上候御事（当6月洪水の節の損壊所見分濟の場所につき）	午（天保5年）7月	1834	一紙	1
26	63	乍恐御達奉申上候御事（忠左衛門京都において取調、引渡の件につき）	午（天保5年）7月	1834	縦	1
26	64	乍恐御達奉申上候御事（南宮社人後藤信濃病死につき）	午（天保5年）7月	1834	一紙	1
26	65	乍恐御請書之事（酒造締りにつき大竹新左衛門酒造高改め）	午（天保5年）9月	1834	縦	1
26	66	乍恐奉願上候御事（忤和平不行状のため勘当致したきにつき）	午（天保5年）10月	1834	一紙	1
26	67	乍恐奉願上候御事（犬山岩井屋太助方より皮麦40石引取につき）	午（天保5年）10月17日	1834	一紙	1
26	68	取究候証文之事（各務野方高割、村方にて割符通りに引分につき）	天保5年8月	1834	縦	1
26	69	乍恐御達奉申上候御事（忠左衛門京都において引渡につき）	午（天保5年）7月5日	1834	縦	1
26	70	乍恐御達奉申上候御事（卯藏無宿安五郎殺害につき）	午（天保5年）6月24日	1834	一紙	1
26	71	乍恐御達奉申上候御事（東海道□□内往還砂押出につき）	午（天保5年）6月	1834	一紙	1
26	72	岩村領目論見新規横道切開方及出訴候由ニ付当組合宿々一同御呼出御尋ニ付右御答書旁奉願上候一巻	天保4年8月	1833	縦	1
26	73	乍恐御達奉申上候御事（宿銭相場につき）	午（天保5年）6月	1834	一紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
鶴沼宿 年寄 坂井銀右衛門、 問屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	下書
庄屋 桜井吉兵衛	水野篤助様 御陣屋	村政	
鶴沼村 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
九ヶ宿 問屋	水野篤助様 御陣屋	交通	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 国定市兵衛	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 氏子総代 甚右衛門、 組頭 嘉右衛門、庄屋 桜井岡 右衛門	水野篤助様 御陣屋	家	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門・山 田甚之右衛門	永田太助、浅井三兵 衛	社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
桜井長兵衛	富田八十郎	村政	2枚、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	
大竹新左衛門	水野篤助様 御陣屋	家業	奥書：右村庄屋 桜井岡右衛門・組 頭 五助・頭百姓 左兵衛、桜井家 文書Ⅱ
鶴沼村 和兵衛親 忠助、 親類惣代	水野篤助様 御陣屋	家	2枚、奥書：右村庄屋 桜井岡右衛門
う沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	
頭百姓惣代 羽場町組 助左衛 門 ほか14名		貢租	
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	
鶴沼宿 問屋・庄屋惣代 桜井 岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	
鶴沼宿 控		交通	桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	桜井家文書Ⅱ

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	74	乍恐御達奉申上候御事（家ごと米麦改につき）	午(天保5年)5月	1834	一紙	1
26	75	乍恐奉願上候御事（加茂郡和泉村高木嘉助より買請た家一軒の諸色につき）	午(天保5年)6月	1834	一紙	1
26	76	乍恐御達奉申上候御事（宇藏・各務村無宿勇右衛門、喧嘩し死骸打捨るにつき）	午(天保5年)5月	1834	一紙	1
26	77	乍恐御達奉申上候御事（宇藏ほか7名茂吉方にて博打・喧嘩につき）	午(天保5年)5月	1834	縦	1
26	78	[宇藏人殺すの始末につき差出状]			縦	1
26	79	乍恐奉願上候御事（宿村夫食として新皮麦200石犬山岩井屋太助方にて買請たきにつき）	5月14日		一紙	1
26	80	乍恐御達奉申上候御事（山田屋五助方の泊り客所持品盗難にあうにつき）	午(天保5年)4月	1834	一紙	1
26	81	乍恐御達申上候（大安寺引揚木品不足あるにつき）	巳(天保4年)10月	1833	一紙	1
26	82	覚（不足品覚）	巳(天保4年)10月	1833	一紙	1
26	83	乍恐御達申上候御事（犬山岩井屋清六方にて米20石買付るにつき）	巳(天保4年)9月12日	1833	一紙	1
26	84	乍恐御達奉申上候御事（木曾谷御登米20石調達につき）	巳(天保4年)8月25日	1833	一紙	1
26	85	乍恐奉願上候御事（米800石御用置米に仰付けられるにつき）	巳(天保4年)8月	1833	一紙	1
26	86	訴訟書之写（小伊木林蔵借財の取扱始末一件）	天保2年12月～天保4年7月	1831～1833	縦	1
26	87	乍恐奉願上候御事（事情により今回の御用勤められずにつき）	辰(天保3年)12月14日	1832	一紙	1
26	88	乍恐御達奉申上候御事（村方散田増え未進金等増加につき）	閏11月(天保3年)	1832	一紙	1
26	89	下書 三通（石屋半右衛門先祖由来・石工仕事につき）	文政1年～文政10年	1818～1827	縦	1
26	90	乍恐奉願上候御事（直吉跡、儀吉丹羽郡より引移り相続仕度きにつき）	巳(天保4年)1月	1833	一紙	1
26	91	乍恐奉願上候御事（政右衛門跡、民右衛門丹羽郡北山名村より引移り相続仕度きにつき）	寅(天保1年)閏3月	1830	縦	1
26	92	乍恐御達奉申上候御事（小伊木組林蔵村方欠払い後持田村親頼宅より帰村につき）	巳(天保4年)1月	1833	一紙	1
26	93	乍恐御達奉申上候御事（四国巡拝後行方不明のため宗門帳より除きたきにつき）	巳(天保4年)1月	1833	一紙	1



作 成 者	宛 先	分類	備 考
右村 庄屋 桜井岡右衛門・国 定市兵衛・山田甚之右衛門	水野篤助様 御陣屋	貢租	5枚、下書
各務郡鶴沼村 直吉	水野篤助様 御陣屋	社会	3枚、下書、奥書：右村庄屋 桜井岡 右衛門
鶴沼村 組頭 定助、庄屋 桜 井吉兵衛		社会	3枚
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門、 組頭 嘉右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
		社会	
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	下書
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	6枚、下書、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 留木裁許人・庄屋兼 桜井岡右衛門	円城寺 御役所	社会	桜井家文書Ⅱ
		社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	
桜井岡右衛門、国定市兵衛	水野篤助様 御陣屋	貢租	
鶴沼村 庄屋 山田甚之右衛門・ 国定市兵衛・桜井岡右衛門	錦織 御役所	貢租	
		社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 留木裁許人 桜井長兵 衛・坂井銀右衛門・坂井伝兵衛	円城寺 御役所	支配	2枚、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門、 組頭 坂井銀右衛門・嘉左衛門・ 十助	水野篤助様 御陣屋	貢租	3枚
		家業	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 組頭 定助、庄屋桜井 岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	家	2枚
鶴沼村 組頭 坂井銀右衛門、 庄屋 桜井吉兵衛	水野篤助様 御陣屋	家	下書
右村 組頭 口助、右村 庄屋 惣代 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	2枚、桜井家文書Ⅱ

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	94	乍恐御達奉申上候御事（出羽国百姓次郎吉ほか鶴沼宿脇本陣宿泊中盜賊に遭うにつき）	辰(天保3年)12月	1832	縦	1
26	95	乍恐御達奉申上候御事（追放者三人の覚）	閏11月24日 (天保3年)	1832	一紙	1
26	96	乍恐御達奉申上候御事（西川組百姓より難渋願につき）	辰(天保3年)11月	1832	縦	1
26	97	乍恐御達奉申上候御事（当春以来村内百姓共品々御願につき）	辰(天保3年)閏11月	1832	一紙	1
26	98	乍恐御請咤奉申上候御事（当春以来村方百姓種々出願につき）	天保3年閏11月	1832	一紙	1
26	99	乍恐御達奉申上候御事（去月24日の出水之節の流木につき）	閏11月(天保3年)	1832	一紙	1
26	100	乍恐御達奉申上候御事（御膳米2石納めにつき）	辰(天保3年)11月	1832	一紙	1
26	101	乍恐御願奉申上候御事（御居米三百石納めにつき）	辰(天保3年)11月	1832	一紙	1
26	102	乍恐書付指上申候御事（鳩3・4羽種鳩に仕度きにつき）	辰(天保3年)10月	1832	一紙	1
26	103	乍恐御達奉申上候御事（三国屋宿泊の坊主蒲団を盗み逃げるにつき）	辰(天保3年)10月	1832	一紙	1
26	104	乍恐御達申上候御事（去秋有君様御下向の節の往還掃除丁場につき）	辰(天保3年)8月	1832	一紙	1
26	105	乍恐奉願上候御事（近年稀な早魃のため年貢減免願につき）	辰(天保3年)8月	1832	一紙	1
26	106	乍恐奉再願候御事（三ッ池新田火打野御林・字山神附林御伝馬秣場に立置願につき）	辰(天保3年)8月	1832	一紙	1
26	107	奉願上候御事（三ッ池新田神明宮拝殿再建につき）	天保3年8月	1832	一紙	1
26	108	伐採寸明覚	辰(天保3年)8月	1832	一紙	1
26	109	乍恐奉願上候御事（岡右衛門本陣・問屋・庄屋役退役、仲長兵衛役相続願につき）	辰(天保3年)8月	1832	縦	1
26	110	乍恐御達奉申上候御事（西町卯助方盜賊入り着類盜取られるにつき）	辰(天保3年)8月14日	1832	一紙	1
26	111	乍恐御達奉申上候御事（日照りのため田畑早損につき）	辰(天保3年)7月	1832	縦	1
26	112	宿内道直シ家別間数調帳	天保3年4月	1832	縦	1
26	113	宿内道直家別間数調帳	天保3年4月	1832	縦	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
鶴沼宿		社会	控、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	黒田新蔵、長瀬又七郎	社会	下書
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門、与頭 坂井銀右衛門、年寄 坂井伝兵衛・山田孫左衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	下書
鶴沼村 庄屋 山田甚右衛門・国定市兵衛・桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	3枚
三千石 惣百姓人別		社会	2枚
鶴沼村 惣代 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	支配	3枚
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	貢租	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	貢租	
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	御鷹場 御役所	家業	桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	端書：此留書内右衛門より御返し可被下候
鶴沼村 組頭、庄屋	水野篤助様 御陣屋	貢租	2枚、下書
鶴沼村 百姓惣代 安兵衛 ほか11名	水野篤助様 御陣屋	村政	5枚、桜井家文書Ⅱ
各務郡鶴沼村 玉泉院	水野篤助様 御陣屋	社会	写、桜井家文書Ⅱ
う沼村 玉泉院		土木	桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 本陣・問屋・庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	奥印：右村 庄屋惣代 国定市兵衛・問屋 野口定兵衛・年寄惣代 坂井銀右衛門 山田甚右衛門、桜井家文書Ⅱ
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	4枚
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
		村政	
		村政	

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	114	乍恐御達奉申上候御事（紀州様御家中伊賀衆嶋芳左衛門様鶴沼宿において病死につき）	辰(天保3年)4月	1832	縦	1
26	115	乍恐御願奉申上候御事（有君様御下向の節御作事方御用繼立人馬取調につき）	辰(天保3年)2月	1832	縦	1
26	116	乍恐奉願上候御事（三ッ池新田火打野御林・宇山神附林御伝馬秣場に立置願いにつき）	天保3年2月	1832	一紙	1
26	117	乍恐御達奉申上候御事（有君様御迎登衆上京の節人足囲所請負代金につき）	卯(天保2年)8月	1831	縦	1
26	118	[有君様御下向の節御作事方御用繼立人馬取調につき]	辰(天保3年)2月	1832	一紙	1
26	119	乍恐御達奉申上候御事（又左衛門住居家焼失につき）			一紙	1
26	120	乍恐奉願上候御事（善五郎跡笠松村新三郎倅作七養子貴請相統願い）	辰(天保3年)1月	1832	縦	1
26	121	乍恐御達奉申上候御事（行方不明者につき宗門帳から除外仕度きにつき）	辰(天保3年)1月	1832	縦	1
26	122	乍恐御達奉申上候御事（大安寺末寺知足院へ盜賊忍入につき）	卯(天保2年)7月	1831	一紙	1
26	123	一札（彦根厩方曾平次鶴沼宿において変死いたすにつき）	卯(天保2年)4月29日	1831	縦	1
26	124	乍恐奉願上候御事（農間稼に□□商売始めたところ病身となるにより商売市左衛門方へ譲りたきにつき願い）	卯(天保2年)6月	1831	縦	1
26	125	乍恐御達奉申上候御事（小七栗須村縁者の葬式より帰る途中木曾川通破宝巻で水死につき）	卯(天保2年)5月	1831	縦	1
26	126	各務郡鶴沼村百姓小七人相書			一紙	1
26	127	着用之着類（小七着用衣類）			一紙	1
26	128	風呂敷包之内へ入候品（小七所持品）			一紙	1
26	129	乍恐御達奉申上候御事（犬山中切村半右衛門鶴沼村の住居焼失につき）	卯(天保2年)1月28日	1831	一紙	1
26	130	乍恐奉願上候御事（瓦焼の土字葎池雨池中より取るにつき）	卯(天保2年)1月	1831	一紙	1
26	131	乍恐御達奉申上候御事（石屋半右衛門鶴沼村の住居焼失につき）	卯(天保2年)1月28日	1831	一紙	1
26	132	乍恐奉願上候御事（水車の米麦搗売年限明につき5年間延長願い）	卯(天保2年)1月	1831	一紙	1
26	133	乍恐御達シ奉申上候御事（源右衛門犬山和七方にて博打打つにつき）			一紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門、 年寄 山田孫左衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	
鶴沼宿 年寄 山田孫左衛門、 問屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 百姓惣代 安兵衛 ほ か9名	水野篤助様 御陣屋	村政	5枚
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門、 年寄 山田孫左衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	桜井家文書Ⅱ
大井宿 問屋 林平左衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	2枚
		社会	
鶴沼村 文左衛門	水野篤助様 御陣屋	家	奥印：右村庄屋 桜井岡右衛門、 桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門・国 定市兵衛	水野篤助様 御陣屋	村政	
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚、桜井家文書Ⅱ
井伊掃部頭 御用 藤野市助	鶴沼宿 御問屋・御 年寄 衆中	社会	写、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 文兵衛	水野篤助様 御陣屋	家業	下書、奥印：鶴沼村庄屋惣代 桜井 岡右衛門
右村 庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門、 組頭 坂井銀右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚、下部に「案」とあり、桜井家文 書Ⅱ
鶴沼村 文兵衛	水野篤助様 御陣屋	家業	4枚、絵図面付き、奥印：右村 庄屋 桜井岡右衛門・組頭坂井銀右衛門、 桜井家文書Ⅱ
石屋 半右衛門	地方 御役所	社会	奥印：中切村 庄屋長左衛門・久右 衛門
鶴沼村 八百七	水野篤助様 御陣屋	家業	奥印：右村 庄屋桜井岡右衛門
		社会	下書

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	134	乍恐御達奉申上候御事（百姓文之助継鹿尾村喜兵衛娘とめと木曾川筋目宝巻にて水死するにつき）	6月29日		縦	1
26	135	乍恐奉願上候御事（藤三郎忤文弥行方不明につき宗門帳より除外願い）	寅(天保1年)6月	1830	一紙	1
26	136	乍恐奉願上候御事（内輪困窮につき庄屋役休役願い）	寅(天保1年)4月	1830	一紙	1
26	137	乍恐奉願上候御事（医師仙庵宿方御用懸り仰付願いにつき）	寅(天保1年)4月	1830	一紙	1
26	138	乍恐奉願上候御事（医師仙庵宿方御用懸り仰付願いにつき）	寅(天保1年)4月	1830	一紙	1
26	139	乍恐奉願上候御事（政右衛門跡親頼の尾州丹羽郡北山名小淵村民右衛門相統するにつき）	閏3月(天保1年)	1830	一紙	1
26	140	乍恐奉願上候御事（百姓減少散田増加につき各務野新開指留願い）	寅(天保1年)1月	1830	一紙	1
26	141	乍恐御達シ奉申上候御事（両助物置一軒焼失につき）	寅(天保1年)2月26日	1830	一紙	1
26	142	乍恐奉願上候御事（百姓難渋につき各務野新開指留願い）	寅(天保1年)1月	1830	一紙	1
26	143	乍恐御達奉申上候御事（作右衛門用立の金子一件につき）	丑(文政12年)1月	1829	一紙	1
26	144	乍恐御請書奉指上候御事（当村御番所詰鈴木助八郎様の江戸御勘定所御取締御貸渡金につき）	丑(文政12年)6月	1829	一紙	1
26	145	乍恐御達奉申上候御事（二之宮神社拝殿縁下に女物拾あるにつき）	子(文政11年)6月	1828	一紙	1
26	146	乍恐御尋ニ付奉申上候御事（諸御通衆の注進書の包紙の有無につき）	5月(文政12年)	1829	切紙	1
26	147	乍恐御尋ニ付奉申上候御事（当宿御通衆様名古屋への御注進書の包紙につき）	丑(文政12年)5月	1829	一紙	1
26	148	乍恐御内達奉申上候御事（紀州様御家中則岡庄司乱心につき鶴沼宿にて召捕の手配につき）	丑(文政12年)5月	1829	縦	1
26	149	乍恐御伺奉申上候御事（本陣・問屋・庄屋兼務桜井岡右衛門宿村御用につき御陣屋への罷出御免願い）	丑(文政12年)2月	1829	縦	1
26	150	乍恐御達奉申上候御事（桜井岡右衛門御嶽宿にて信州森村政次郎病死の件で御勘定所へ呼出されるにつき）	子(文政11年)11月	1828	一紙	1
26	151	乍恐御達奉申上候御事（次右衛門後家そよの身上につき）	子(文政11年)11月	1828	一紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
鶴沼村 組頭 桜井岡右衛門、庄屋惣代	水野篤助様 御陣屋	社会	裏表紙に「控」とあり
右村 庄屋惣代 桜井岡右衛門、組頭 坂井銀右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	下書、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 大竹翁助	水野篤助様 御陣屋	村政	3枚
鶴沼宿 問屋・庄屋 桜井岡右衛門、問屋 野口貞兵衛、庄屋 国定市兵衛・山田甚之右衛門、年寄 坂井銀右衛門	水野篤助様 御陣屋	家業	2枚、桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 問屋・庄屋 桜井岡右衛門、問屋 野口貞兵衛、庄屋 国定市兵衛・山田甚之右衛門、年寄 坂井銀右衛門	水野篤助様 御陣屋	家業	2枚
右村 組頭 坂井銀右衛門、庄屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	家	2枚、下書
鶴沼村 庄屋 山田甚之右衛門・大竹翁助・国定市兵衛・桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	3枚
右村 庄屋 山田甚之右衛門・桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 山田甚之右衛門・大竹翁助・国定市兵衛・桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	3枚、桜井家文書Ⅱ
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	4枚
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	貢租	下部に「下書」とあり
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	下書、桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	支配	
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	支配	
鶴沼宿 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	下書、桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 問屋 野口貞兵衛、年寄 坂井銀右衛門・坂井孫左衛門	水野篤助様 御陣屋	村政	桜井家文書Ⅱ
桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	2枚
う沼村 庄屋 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	村政	2枚

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	152	乍恐御達申上候御事(亥年返納米・子年物成米のうち広井御蔵入分につき)	子(文政11年)11月	1828	一紙	1
26	153	乍恐御達奉申上候御事(鳩10羽種鳩に致したきにつき)	子(文政11年)9月	1828	一紙	1
26	154	乍恐御請書奉指上候御事(各務野御林立木落札代金につき)	子(文政11年)9月	1828	縦	1
26	155	乍恐奉御達申上候事(木曾川出水により当村にて用材・商木留木仕るにつき)	子(文政11年)7月	1828	縦	1
26	156	乍恐御尋ニ付奉申上候御事(御普請役近藤磯右衛門・木村半左衛門様越しの節当宿入用書上いたさずにつき)	子(文政11年)5月	1828	一紙	1
26	157	助郷村々変化有無之記書上帳	文政10年9月	1827	一紙	1
26	158	乍恐御達奉申上候御事(治右衛門後家いろ盗賊事件に掛り合うにつき)	子(文政11年)3月	1828	一紙	1
26	159	乍恐御達申上候御事(丹羽郡木津村三明神境内の盗殺人につき)	子(文政11年)3月	1828	一紙	1
26	160	乍恐御達奉申上候御事(御庭御垣用の鳳尾草御尋につき)	子(文政11年)3月	1828	一紙	1
26	161	寺社奉行より触書等につき庄屋控え書(東海道酒匂川川越人足貨割増、四日市宿人馬賃銭・渡駄貨割増、下総国葛飾郡古河富之助殺害人相書)	2月25日		一紙	1
26	162	乍恐御達奉申上候御事(戌年の物成のうち広井御蔵入分につき)	戌(文政9年)11月	1826	一紙	1
26	163	乍恐御達奉申上候御事(鶴沼村大安寺除地につき)	子(文政11年)2月	1828	一紙	1
26	164	乍恐御達奉申上候御事(去亥年他出のまま音信不通の者につき)	子(文政11年)2月	1828	一紙	1
26	165	乍恐奉願上候御事(山神御林の内山神境内地以外につき従来通り村方御林廻りの者落葉・下草かき取り引請けたい)	子(文政11年)1月	1828	一紙	1
26	166	乍恐奉願上候御事(水車の飯米・青米搗き年期明けにつき5年間延長願ひ)	子(文政11年)	1828	一紙	1
26	167	乍恐奉願上候御事(元八跡、忠六家内三人持田村より引越し相続仕度きにつき)	子(文政11年)1月	1828	一紙	1
26	168	乍恐奉願上候御事(山神御林の内山神境内地以外につき従来通り村方御林廻りの者落葉・下草かき取り引請けたい)	子(文政11年)1月	1828	一紙	1
26	169	歎(撰州嶋下ノ郡嶋村新兵衛勘当後の行状につき)	(子年)(文政11年)	(1828)	切紙	1
26	170	覚(新兵衛・吉兵衛・清七所持の品につき)			縦	1



作 成 者	宛 先	分類	備 考
う沼村 庄屋 桜井岡右衛門・ 国定市兵衛・大竹翁助・山田甚 之右衛門	水野篤助様 御陣屋	貢租	2枚
右村 庄屋 桜井岡右衛門	御鷹場 御役所	家業	
右村 庄屋惣代 桜井岡右衛門・ 国定市兵衛		支配	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門・ 山田甚之右衛門	水野篤助様 御陣屋	支配	桜井家文書Ⅱ
鶴沼宿 問屋 桜井岡右衛門、 年寄 安右衛門	水野篤助様 御陣屋	交通	
中山道 鶴沼宿		交通	14枚、写し
右村 庄屋惣代 桜井岡右衛門	水野篤助様 御陣屋	社会	4枚
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛 門	水野篤助様 御陣屋	社会	
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛 門	矢野藤九郎様 御陣 屋	村政	桜井家文書Ⅱ
太田代官所 □□村 庄屋		支配	6枚
右村 庄屋 桜井岡右衛門・国 定市兵衛・大竹翁助・山田甚之 右衛門	矢野藤九郎様 御陣 屋	貢租	2枚
鶴沼宿 本陣・問屋・庄屋兼 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣 屋	貢租	2枚、奥書：右村庄屋惣代 国定市兵 衛・山田甚之右衛門、「下書」とあり
右村 庄屋惣代 桜井岡右衛門・ 山田甚之右衛門	矢野藤九郎様 御陣 屋	社会	2枚、下書、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 国定市兵衛・桜 井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣 屋	村政	3枚、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣 屋	家業	2枚、奥書：右村 庄屋山田甚之右衛 門、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門、 組頭 嘉右衛門	矢野藤九郎様 御陣 屋	家	3枚
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門・ 国定市兵衛・大竹翁助・山田甚 之右衛門	矢野藤九郎様 御陣 屋	村政	3枚、異筆：答答
		社会	
		社会	

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	171	乍恐御達奉申上候御事（堺屋善三郎方止宿の者盗賊に遭うにつき）	亥(文政10年)11月	1827	一紙	1
26	172	乍恐御達申上候御事（大安寺知統（足）庵に盗賊忍入るにつき）	亥(文政10年)11月	1827	一紙	1
26	173	乍恐御達奉申上候御事（亥年の物成の内広井御蔵入分につき）	亥(文政10年)11月	1827	一紙	1
26	174	乍恐御尋ニ付奉申上候御事（石屋半右衛門の仕事・御役勤につき）			一紙	1
26	175	文政十年亥閏六月四日 出水流木調	文政10年閏6月	1827	一紙	1
26	176	乍恐御達奉申上候御事（木曾川出水流木当村にて留木につき）	亥(文政10年)6月	1827	一紙	1
26	177	乍恐御達申上候御事（東海道□坂の内往還欠所・倒木あるにつき）	亥(文政10年)6月	1827	一紙	1
26	178	御参府につき伏見宿へ差遣金	亥(文政10年)6月	1827	切紙 (堅切紙)	1
26	179	乍恐御達奉申上候御事（花ノ木・隠洞の田地大雨のため砂入・水押につき）	亥(文政10年)6月	1827	一紙	1
26	180	乍恐以書付奉願上候（名古屋・吉田・岡崎への売荷物の道中継立の経路につき）			一紙	1
26	181	差上申一札之事（伊奈街道より名古屋・吉田・岡崎への売荷物継立につき）	文政9年10月29日	1826	一紙	1
26	182	文政十年四月十二日鷹司右大将様昼休みにつき頂戴の金子	文政10年3月	1827	縦	1
26	183	乍恐奉願上候御事(各務村清七与兵衛弟久次郎を養子に貴請たきにつき)	亥(文政10年)2月	1827	一紙	1
26	184	乍恐奉願上候御事（大伊木・三ツ池百姓新田切起たきにつき）	亥(文政10年)2月	1827	一紙	1
26	185	乍恐奉申上候御事（犬山中切村半右衛門鶴沼石切出し、村方相対年貢1石毎年指出すにつき）	亥(文政10年)1月	1827	一紙	1
26	186	乍恐御達奉申上候御事（戌年物成のうち広井御蔵入の分積出につき）	戌(文政9年)11月	1826	一紙	1
26	187	乍恐御達申上候御事（鶴沼村高年者につき）	戌(文政9年)8月	1826	一紙	1
26	188	乍恐御達申上候御事（去西年円城寺より積出す広井御蔵入米運賃につき）	戌(文政9年)8月	1826	縦	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
		社会	2枚、下書、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	社会	3枚、下書
右村 庄屋惣代 桜井岡右衛門・山田甚之右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	貢租	2枚
		家業	2枚、下書
川並留木裁人(許脱) 鶴沼村 庄屋兼 桜井岡右衛門・国定市兵衛	矢野藤九郎様 御陣屋	支配	5枚、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門・右村 留木裁許人 庄屋兼 坂井伝兵衛	矢野藤九郎様 御陣屋	支配	2枚、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門	往還方 御役所	交通	2枚、下書
		交通	
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門・大竹翁助、与頭 良助・権七	矢野藤九郎様 御陣屋	社会	2枚、桜井家文書Ⅱ
内藤大和守領分 信州伊奈郡御堂垣外宿 栗田 ほか8名	道中御奉行所	交通	5枚、奥書：八右衛門ほか8名
内藤大和守領分 信州伊奈郡御堂垣外宿 其外 不残名印	道中御奉行所	交通	2枚、写し
鶴沼宿 本陣 桜井岡右衛門	御作事方	交通	桜井家文書Ⅱ
各務郡鶴沼村 与兵衛	矢野藤九郎様 御陣屋	家	2枚、奥書：右村庄屋 桜井岡右衛門、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村三ツ池新田 組頭 市右衛門、大伊木 組頭 孫左衛門・弥六、右村 庄屋 国定市兵衛・桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	農業	4枚、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	家業	2枚、端書(朱書)：文政十年亥正月 太郎右衛門孫左衛門嘉蔵半右衛門、桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門・国定市兵衛・大竹翁助・山田甚之右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	貢租	2枚、桜井家文書Ⅱ
桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	村政	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門・国定市兵衛	矢野藤九郎様 御陣屋	貢租	桜井家文書Ⅱ

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
26	189	乍恐御達申上候御事（円城寺より積出す 広井御蔵入米運賃につき）	西(文政8年)12月	1825	一紙	1
26	190	乍恐奉願上候御事（各務野御林切払につ き人足手當下置かれたきにつき）	戊(文政9年)8月	1826	一紙	1
26	191	乍恐奉願上候御事（陸屋役人石田藤助様 転役のところ（太田）陣屋へ帰役願い）	西(文政8年)11月	1825	一紙	1
26	192	乍恐御達奉申上候御事（西町組清六・東 町組金兵衛方へ盗賊忍入るにつき）	戊(文政9年)7月	1826	一紙	1
26	193	乍恐奉願上候御事（村方困窮難洪の折、 各務野御林伐払の節御手当金百両下置か れたきにつき）	戊(文政9年)6月	1826	縦	1
26	194	乍恐御尋ニ付以書付奉申上候御事（三ッ 池新田百姓尾州小淵村へ横越船出願のど ころ、村方難渋相増し迷惑につき指止め 願い）	戊(文政9年)5月	1826	一紙	1
26	195	乍恐御達申上候御事（いもち病流行によ り困苗できずにつき）	戊(文政9年)5月	1826	一紙	1
26	196	乍恐御達奉申上候御事（博打打ちの者呼 出厳しき御訂し仰付けられたきにつき）			一紙	1
26	197	乍恐以書付奉願上候御事（大伊木百姓よ り三ッ池新田百姓出願の新造横越船渡船 取下げ願いにつき）	戊(文政9年)4月	1826	縦	1
26	198	乍恐御達奉申上候御事（文兵衛名古屋本 町辺りにて風呂敷包の諸色落すにつき）			一紙	1
26	199	儉約慎方覚	戊(文政9年)3月	1826	一紙	1
26	200	乍恐奉願上候御事（文化14年焼失の旅籠・ 家屋再建の拝借金、当冬の返上金減額の 願いにつき）	西(文政8年)12月	1825	一紙	1
27		見取新田名寄帳	嘉永5年7月	1852	横長	1
28		未之大目録	弘化4年	1847	縦	1
29	1	戌歳勘定目録	嘉永3年12月	1850	縦	1
29	2	戌之大目録 西町立会所	嘉永3年	1850	縦	1
30		本田御検見米割渡帳散田并諸入用書	嘉永3年12月	1850	縦	1
31		戌年砂入秀（禿）所引米	嘉永4年12月	1851	縦	1
32		亥年勘定目録	嘉永4年12月	1851	縦	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
右村 庄屋 桜井岡右衛門・国定市兵衛・大竹翁助・山田甚之右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	貢租	2枚
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門・国定市兵衛・大竹翁助・山田甚之右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	村政	3枚、下々札あり
村々 庄屋		支配	
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門・山田甚之右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	社会	4枚、下書、桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門・国定市兵衛・大竹翁助・山田甚之右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	支配	桜井家文書Ⅱ
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	社会	4枚
鶴沼村 庄屋惣代 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	農業	桜井家文書Ⅱ
右村 庄屋 桜井岡右衛門、組頭 坂井銀右衛門・嘉右衛門・十助・治左衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	社会	2枚、桜井家文書Ⅱ
大伊木 川庄屋 孫左衛門、組頭 弥六郎・文左衛門、百姓代 九兵衛・平助	御庄屋 桜井岡右衛門・国定市兵衛・大竹太左衛門・山田甚之右衛門	村政	鶴沼村庄屋(4名)から太田代官宛の添え文書(写し)あり、桜井家文書Ⅱ
		社会	2枚、下書
鶴沼村 庄屋 桜井岡右衛門・国定市兵衛	矢野藤九郎様 御陣屋	社会	3枚、桜井家文書Ⅱ
右宿 本陣・問屋・庄屋兼 桜井岡右衛門	矢野藤九郎様 御陣屋	村政	3枚、裏表紙あり、桜井家文書Ⅱ
庄屋 桜井吉兵衛		土地	文書史料目録3
西町 立会所		貢租	文書史料目録3
西町 控		貢租	文書史料目録3
西町 立会所		貢租	文書史料目録3
庄屋 桜井吉兵衛 控		貢租	文書史料目録3
西町分		貢租	文書史料目録3
桜井		貢租	文書史料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
33		亥之大目録	嘉永4年	1851	縦	1
34		覚（御払居米代金）	戊（嘉永3年）12月	（1851）	一紙	1
35		子歳勘定目録 并ニ散田御引米割合雑用米割合印之	嘉永5年	1852	縦	1
36		子之大目録	嘉永5年	1852	縦	1
37		戌年砂入所引米割渡帳	嘉永5年12月改メ	1852	縦	1
38		丑之大目録	嘉永6年	1853	縦	1
39		丑年勘定目録	嘉永6年11月	1853	縦	1
40		戌年砂入引米割渡帳	嘉永6年11月	1853	縦	1
41		卯之大目録	安政2年	1855	縦	1
42	1	卯年勘定目録	安政2年11月	1855	縦	1
42	2	[諸入用金につき書上]			縦	1
43		辰大目録	安政3年	1856	縦	1
44		辰年勘定目録帳	安政3年12月改メ	1856	縦	1
45		巳年勘定大目録	安政4年11月	1857	縦	1
46		巳大目録	安政4年	1857	縦	1
47		午之大目録	安政5年	1858	縦	1
48		午年勘定目録帳	安政5年11月改メ	1858	縦	1
49		未之大目録	安政6年	1859	縦	1
50		未勘定大目録	安政6年11月	1859	縦	1
51		乍恐再往御歎願奉申上候御事（散田御不同免検見入組一件願）	安政6年9月	1859	縦	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
西町 立会所		貢租	
内田忠蔵	鶴沼村 市郎兵衛	貢租	2枚
西町 控		貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
西町分 控		貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
		貢租	文書史料目録3
西町 控		貢租	寅12月16日付の覚（御私居米代金） もともにあり、文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	裏表紙：西町、文書史料目録3
		貢租	文書史料目録3
		貢租	
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
西町 控		貢租	春夏秋冬の相場綴り（中に切紙あり） がともに綴じられている、こより切 れ、文書史料目録3
庄屋 桜井吉兵衛 控		貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
桜井辰左衛門 控		貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
庄屋 桜井吉兵衛		貢租	文書史料目録3
鶴沼村 庄屋 国定太郎右衛門・ 野口貞兵衛・桜井吉兵衛・大竹 太郎左衛門	吉田次郎吉様 御陣 屋	貢租	写し、文書史料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
52		奉差上候濟口証文之事（散田御不同免入組一件濟口証文）	安政6年9月	1859	縦	1
53		申之大目録	万延1年	1860	縦	1
54		万延元申年四月五月度々大風雨ニ付極凶之不作ニ付同年暮御救米として如此被仰付候尤御安紙儀別紙ニ有之	万延2年1月10日	1861	縦	1
55		[大風雨につき諸引残高検毛願い]	申(万延1年)12月	(1860)	一紙	1
56		申年勘定大目録	万延1年11月	1860	縦	1
57		酉年勘定大目録	文久1年11月	1861	縦	1
58		酉之大目録	文久1年	1861	縦	1
59		目録写	文久1年12月	1861	縦	1
60		亥年勘定大目録	文久3年6月改メ	1863	縦	1
61		亥年惣検見散田分雑用調帳	亥(文久3年)	(1863)	縦	1
62		子年勘定大目録	元治1年11月改メ	1864	縦	1
63		子之大目録	元治1年	1864	縦	1
64		丑年勘定大目録	慶応1年11月改メ	1865	縦	1
65		丑之大目録	慶応1年	1865	縦	1
66		寅年勘定大目録	慶応2年12月	1866	縦	1
67		寅之大目録	慶応2年	1866	縦	1
68		寅年御検見入用調	慶応2年	1866	縦	1
69		卯年勘定大目録	慶応3年11月26日	1867	縦	1
70		□(卯)之大目録	慶応3年	1867	縦	1



作 成 者	宛 先	分類	備 考
西町組 庄屋 桜井吉兵衛 ほ か39名	吉田次郎吉様 御陣 屋	貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
大竹太郎左衛門		貢租	
		貢租	
庄屋 桜井吉兵衛 控		貢租	文書史料目録3
庄屋 桜井吉兵衛 控		貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
西町 控		貢租	
庄屋 桜井辰左衛門 控		貢租	表紙：御不同免初年 西町巾古一ハ 小伊木新散田初メ、文書史料目録3
		貢租	文書史料目録3
庄屋 桜井辰左衛門 控		貢租	元治元年12月の「子年入用割取調帳」 がともに綴じられている、文書史料 目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
庄屋 桜井辰左衛門 控		貢租	表紙の中に切紙あり、文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	文書史料目録3
庄屋 桜井辰エ衛門		貢租	文書史料目録3
西町 立会所		貢租	文書史料目録3
		貢租	文書史料目録3
庄屋 桜井辰左エ門 控		貢租	文書史料目録3
三千石 立会所		貢租	表紙上部破れ

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
71		御免定并ニ村目録立合日録年綴帳	慶応4年1月改	1868	縦	1
72		西之大目録	嘉永2年	1849	縦	1
73		大検見之節小検見米取調割渡帳	嘉永6年11月26日	1853	縦	1
74		寅年勘定め目録	嘉永7年12月	1854	縦	1
75		寅之大目録	嘉永7年	1854	縦	1
76		御見所入用取調三千石并ニ内野共ノ	安政6年3月	1859	縦	1
77		戌之大目録	文久2年	1862	縦	1
78		各務郡鶴沼村宗門御改帳	安政2年3月	1855	縦	1
79		年内払方取調帳	慶応3年12月	1867	縦	1
80		小笠原佐渡守様 御下宿帳	文久2年3月17日	1862	横長	1
81	1	仙石讃岐守様御下り御泊帳	文久2年3月26日	1862	横長	1
81	2	京都江御用 横瀬山城守御本陣入御下宿人数控	文久2年4月3日	1862	横長	1
82		松平右近将監様御下宿帳	文久2年5月7日	1862	横長	1
83		登り御昼休 因幡中将様御下宿	文久2年5月14日	1862	横長	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
庄屋 桜井辰左衛門		貢租	「明治七 戌勘定大目録」「明治七戌□ 戌年御引米割合帳」「西年三千石大 目録」「明治五年十二月改 申年仮免 状仕訳帳」「明治六年 西年 租税目 録」「明治四 未年勘定大目録」「明治 式十二月吉日 巳年勘定大目録」「明 治三 午勘定大目録 草稿」「明治元 辰年勘定目録」「慶応式十二月 寅 年勘定大目録」「明治三庚午四月 再 改革書其外入札達」「明治三年二月廿 五日 御下渡し御下ヶ金割合帳」「元 治元年 多年違免定差引帳」「慶応四 辰八月改メ 子年より丑寅卯年迄之 目録仕訳勘定越帳」「慶応四年辰七月 廿六日 太田ニ而取調 安政六年未 より慶応三卯年迄九ヶ年之間御免定 上納米書抜散田不同免惣御見立免引 米御取調村々内訳之事」が一冊にま とめて綴じられている、貼り紙多数、 文書史料目録3
西町		貢租	嘉永2年の「寿明君様目録」もともに 綴じられている
西町 控		貢租	
西町 控		貢租	
三千石 立会所		貢租	
国定太郎左衛門、野口林市、桜 井辰左衛門		貢租	表紙：立合改之節八十一月廿三日
三千石 立会所		貢租	
庄屋 桜井吉兵衛 控		村政	天保7年の各寺院の檀那人数の書付が ともに綴じられている、文書史料目 録3
御私領方 惣代		村政	文書史料目録3
鶴沼宿 本陣		交通	文書史料目録3
鶴沼宿 本陣 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録3
		交通	
問屋 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録3
鶴沼宿		交通	文書史料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
84		御下り方泊 新庄美作守様御下宿帳	文久2年5月17日	1862	横長	1
85		上り泊り 朽木主計助様御下宿帳	文久2年5月5日	1862	横長	1
86		彦根様 御昼宿組帳	文久2年6月13日	1862	横長	1
87		鶴殿鳩翁様 御宿割帳	文久3年3月	1863	縦	1
88		松浦肥前守様御下宿割帳	文久3年5月5日	1863	横長	1
89		二条御定番松平豊後守様室様御下宿帳	文久3年6月4日	1863	横長	1
90		松平豊後守様御旅ご(籠)割渡帳	文久3年6月5日	1863	横長	1
91		仙台様御家老片倉小十郎様御下宿割帳	文久3年6月16日	1863	横長	1
92		松浦豊後守様御下宿帳	文久3年7月20日	1863	横長	1
93		御泊り登り 小笠原左衛門佐様御下宿帳	子(元治1年) 6月7日	1864	横長	1
94		黒田甲斐守様御泊り御下宿帳	元治1年5月17日	1864	横長	1
95		真田信濃守様御前日御当日御昼休御下宿帳	子(元治1年) 6月20・23日	1864	横長	1
96		土井能登守様御泊り宿割帳	元治1年9月15日	1864	横長	1
97		御下り 青山左京大夫様御下宿帳	元治1年11月19日	1864	横長	1
98		真田信濃守様昼宿割	元治2年2月25日	1865	横長	1
99		日光御神忌御参向ニ付尾州御警衛御役人様宿割帳	元治2年3月18日 より	1865	横長	1
100		[宿割帳綴り]			横長	1
101		御五拾人頭本目長門守様同断鈴木伊兵衛様 御昼休御下宿帳	元治2年5月19日	1865	横長	1
102		高遠御家中御泊り旅籠帳	慶応1年5月23日	1865	横長	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
桜井辰左衛門		交通	文書史料目録3
鶴沼宿		交通	文書史料目録3
		交通	端書：改済、付箋多数あり、文書史料目録3
		交通	表紙：会所用 不用（異筆）、番編成と人数と宿泊先の書かれた横長帳がともにとじられている、文書史料目録3
鶴沼宿 御本陣 控		交通	文書史料目録3
鶴沼宿		交通	文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
御本陣 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録3
鶴沼宿		交通	文書史料目録3
鶴沼宿		交通	文書史料目録3
鶴沼宿 控		交通	文書史料目録3
鶴沼宿 控		交通	「御登り 真田信濃守様御前日御下宿帳」「昼 番割」「泊り人数代金書付帳」がともに綴じられている、文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
鶴沼宿		交通	文書史料目録3
鶴沼		交通	反故紙（宿紙）がともに綴じられている、文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
		交通	「覚（宿割覚）」「京都見廻り役御組頭御登り高久半之介様中嶋銚之介様并ニ御組中共 上り方之分御昼休御下宿帳」がともに綴じられている、文書史料目録3
桜井吉兵衛 控		交通	切紙が3点（覚書）挟んである、文書史料目録3
鶴沼宿 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
103		土井能登守様御下宿帳	慶応1年閏5月13日	1865	横長	1
104		一橋様御用曲淵甲斐守様御下宿帳	慶応1年閏5月15日	1865	横長	1
105		三浦玄蕃頭様御下宿割帳	丑(慶応1年) 5月28日	1865	横長	1
106		高遠宿割帳	慶応1年閏5月	1865	縦	1
107		度々木銭米代割渡し帳 別手組初いろいろ	慶応1年6月より	1865	横長	1
108		仙石讃岐守様御下宿帳	慶応1年6月	1865	横長	1
109		有馬遠江守様養御妹御下宿帳	慶応2年3月23日	1866	横長	1
110		忍家中松平下総守様御下宿帳	寅(慶応2年)6月	1866	横長	1
111		真田信濃守様御泊り旅ご割渡し帳	寅(慶応2年) 8月7・8・9日	1866	横長	1
112		御下り 松平能登守様御下宿帳	慶応2年10月14日	1866	横長	1
113		津軽越中守様御下宿割帳	4月23日		横長	1
114		御書院御番頭有馬阿波守様并御組とも宿割帳	5月19日		横長	1
115		大坂大御番頭松平因幡守様并御組頭四方様御組式拾八頭様御預り御与力六方様御預り御同心拾七方様 御宿割帳	5月16日		横長	1
116		御警衛溝口主膳正様御藩中日数御下宿帳			横長	1
117		[御雇い人馬書上等綴り]	(文久3年)	(1863)	横長	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
鶴沼宿		交通	文書史料目録3
桜井吉兵衛		交通	文書史料目録3
鶴沼宿		交通	文書史料目録3
内藤若狭守 内 安田新兵衛・佐竹十次		交通	付箋多数あり、文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
鶴沼宿 控		交通	文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
		交通	「御宿割」がともに綴じられている
鶴沼宿 御本陣 控		交通	文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
鶴沼宿 控		交通	文書史料目録3
鶴沼宿 御本陣 桜井吉兵衛		交通	文書史料目録3
		交通	「御雇人馬」「二月晦日茗荷屋泊り」「秋月右京充様林大学頭様御下宿」「二月十九日御昼浪士御奉行并=浪土方御徒目付御小人目付御小下人頭并=御小下人御使番旦那御私家来斗り御置御役様共浪士御奉行下役様」「二月十九日御泊り御宿割帳」「二月十八日泊 御鉄砲方井上左大夫様同断田付四郎兵衛様并御組様方御数奇屋頭并支配向共御宿割帳」「二月十八日昼 御小性御組番頭様同御組頭様同御組五十方様御徒目付様御小人目付様御普請役様御昼休割帳」「御上路陸地御供御書院御番頭様同御組頭様同御組御番衆五拾頭様御与力様御同心様御徒目付様御小人目付様 二月十七日御昼休割帳」が一冊にまとめて綴じられている

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
118		御私料方御休泊料ノ出帳	慶応3年11月	1867	縦	1
119		若州御隠居酒井右京大夫様御下宿割書上帳	文久2年10月26日	1862	横長	1
120		木下備中守室様御下宿帳	文久3年4月9日	1863	横長	1
121	1	[大久保出雲守様宿割綴り]			横長	1
121	2	[梶井宮様外寺家宰相ほか御通行覚]	3月17日～4月1日		横長	1
121	3	[覚書綴り]			一紙綴り	1
121	4	[宿帳綴り]			横長	1
121	5	御本陣着(宿割)			横長	1
121	6	[宿割帳(本陣共13軒)]			横長	1
122		[和宮様御下向ニ付諸帳面綴り]	文久1～2年	1861～1862	縦	1
123	1	[本陣覚書]			横半	1
123	2	[本陣覚書]			横半	1
124		万代記			横半	1
125		聞書集	(享和3年～弘化4年3月)	(1803～1847)	縦	1
126		[大風雨による倒壊家屋調等級]	天保8年	1837	縦	1
127		宝塔勸化帳	弘化2年1月	1845	縦	1
128		熟済書付之事(村方献金帳疑惑一件済口証文)	慶応2年3月13日	1866	一紙	1
129		約定書之事(大安寺洞雨池埋立新規普請)	明治6年5月	1873	一紙	1



作 成 者	宛 先	分類	備 考
		交通	文書史料目録3
中山道 鶴沼宿		交通	文書史料目録3
		交通	帳くずれ
		交通	「覚（人足覚）」がともに綴じられている、1～6は横長帳の裏表紙で包まれていた
		交通	
		交通	8点一綴り、「覚（人足覚）」「覚（木銭白米覚）」「羽太庄左衛門様小林甚六郎様竹林忠次郎様宿割」「人足書付」「覚（人足賃覚）」「水戸様百姓（旅籠宿泊人数）」「六月十七日御泊」「差上申木銭之事」が一綴りになっている
		交通	「宿割帳」「円三郎宿泊・松平権留旅籠代受取」「入用金額書付」「真田様御渡し帳 昼宿割」の4点がともに綴じられている
		交通	
		交通	
		交通	虫喰い多、史料にいたみあり、桜井家文書Ⅲ
		交通	文書史料目録2、桜井家文書V
		交通	文書史料目録2、桜井家文書Ⅵ・Ⅶ（部分収録）
桜井岡右衛門		村政	裏表紙：桜井岡右衛門、文書史料目録2
		社会	表紙に一部破れあり、文書史料目録3、桜井家文書Ⅳ
		村政	こより切れ
		文化	文書史料目録3
鶴沼村西町組 代 武右衛門	頭百姓兼小前惣 ほか6名	村政	文書史料目録3
三千石 惣代 黒田佐太郎・阿部源四郎・山田佐右衛門・大栗又兵衛・勝野伊左衛門	東西御村役中	土地	文書史料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
130		仮約定証（地所並びに立木譲渡）	明治9年1月6日	1876	縦	1
131		証券（村方帳簿一件済口証文）	明治10年4月6日	1877	縦 （罫紙）	1
132		証券（野方入組の件済口証文）	明治12年1月21日	1879	一紙	1
133		仮約定証（地価帳書誤り一件）	明治12年3月28日	1879	縦	1
134		[各務郡鶴沼村税歳入と予算表書]	明治21～24年	1888～ 1891	一紙 （罫紙）	1
135	1	施帳規則事	明治7年12月	1874	一紙	1
135	2	施帳規則事	明治7年12月	1874	一紙	1
135	3	施帳規則ノ事	明治7年12月	1874	一紙	1
135	4	施帳規則之事	明治7年12月29日	1874	一紙	1
135	5	施帳規則之事	明治7年12月28日	1874	一紙	1
135	6	施帳規則之事	明治7年12月27日	1874	一紙	1
135	7	施帳規則之事	明治7年12月27日	1874	一紙	1
135	8	施帳規則之事	明治7年12月27日	1874	一紙	1
136		施帳規則之事	明治8年1月25日	1875	一紙 （証券界紙）	1
137		御講請書之事	明治8年1月	1875	縦 （証券界紙）	1
138		御願（看板掲げ願い）	明治10年5月	1877	縦 （罫紙）	1
139	1	宿料淹滞之訴状	明治10年5月21日	1877	縦 （訴訟用紙）	1
139	2	宿料淹滞之訴御願下	明治10年5月22日	1877	一紙	1
140	1	送証 汽船（清酒送り証）	明治15年4月27日	1882	切紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
高須 井原善右衛門、証人 林六蔵	桜井辰左衛門	土地	文書史料目録3
西町組 惣代 武藤金兵衛 ほか15名	立入人 武藤嘉左衛門ほか6名	村	文書史料目録3
鶴沼村 戸長 国定良吉・土屋治太郎、副戸長 浅野彦太郎・梅田晋平	桜井辰左衛門	村	文書史料目録3
鶴沼村 桜井辰左衛門	曾我長四郎 代理 熊谷藤六郎	土地	文書史料目録3
		村	20枚、村費・教育費等、順不同、綴じてない、裏に手習いがしてある
美江寺宿 海老屋象蔵	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、1～8はもと一綴りか、文書史料目録3、桜井家文書IV
加納町 可兒屋源助	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、文書史料目録3、桜井家文書IV
新加納 梅村屋利兵衛	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、文書史料目録3、桜井家文書IV
中山道 伏見駅 松屋市右衛門	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、文書史料目録3、桜井家文書IV
中山道 御嵩駅 新薬屋理七	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、文書史料目録3、桜井家文書IV
中山道 大湫駅 角田屋東四郎	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、文書史料目録3、桜井家文書IV
中山道 大湫駅 米屋利右衛門	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、文書史料目録3、桜井家文書IV
中山道 深萱 加納屋文左衛門	文明講 御講元 石田精六	勤業	文明講、文書史料目録3、桜井家文書IV
中山道 赤坂駅 藤屋伊三郎	文明講元 村松篤四郎・守屋福次郎	勤業	文明講、奥印：中山道赤坂駅 松屋忠兵衛、文書史料目録3、桜井家文書IV
中山道 新加納 梅村屋利兵衛、赤坂駅 松屋忠兵衛・藤屋伊三郎、垂井駅 龜屋為八	文明講元 村松篤四郎・守屋福次郎、御取締 鶴沼駅 桜井吉兵衛・高宮駅 和田庄司	勤業	文明講、講請書4点を綴じたもの、文書史料目録3、桜井家文書IV
願主 桜井円三郎	岐阜警察署	勤業	奥印：右村副戸長 阿部源市、付図・警察署の了解文あり、文書史料目録3、桜井家文書IV
第一大区十五小区 厚見郡(マ) 鶴沼村28番地 原告代人 平民 桜井吉兵衛	松本裁判所管内岐阜区裁判所長 二級判事補 長谷文	交通	1・2は共に折りたたんであったもの、文書史料目録3
桜井吉兵衛	松本裁判所管内岐阜区裁判所長 二級判事補 長谷文	交通	文書史料目録3
美濃国各務郡鶴沼駅 取扱 山田平次郎、荷主 桜井吉兵衛	伊勢国四日市港 山田伝四郎 継 東京南新川 山田五郎助	運輸	清酒神国一、文書史料目録3、桜井家文書IV

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
140	2	送証 汽船（清酒送り証）	明治15年4月27日	1882	切紙	1
141		仮記（酒船送り）	（明治）16年3月	1883	切紙 （続紙）	1
142		商売品当座貸帳	明治16年	1883	横長	1
143		商売品当座貸帳	明治17年	1884	横長	1
144		商売品当座貸帳			横長	1
145		商売品貸帳	明治19年1月	1886	横長	1
146		借用仕金子之事	元治1年5月	1864	一紙	1
147	1	借用申金子之事	慶応1年12月	1865	一紙	1
147	2	覚（金8両諸入用渡し）	西9月4日		切紙	1
147	3	[石黒氏畑一件につき書状]（地面売買）	7月24日		切紙	1
148		借用仕金子之事	慶応2年7月		一紙	1
149		借用仕金子之事	慶応4年7月	1868	一紙	1
150		借用申金子之事	明治2年3月1日	1869	一紙	1
151		借用申金子之事	明治3年12月19日	1870	一紙	1
152		借用仕金子之事	明治4年12月	1871	一紙	1
153		差入申一札之事	明治4年12月	1871	一紙	1
154		借用申金子之事	明治5年11月	1872	一紙	1
155		借用申金子之事	明治7年2月	1874	一紙	1
156		借用申金子之事	明治7年11月	1874	一紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
美濃国各務郡鶴沼駅 取扱 山 田平次郎、荷主 桜井吉兵衛	伊勢国四日市港 山 田伝四郎 継 東京 北新川 三越得右衛 門	運輸	清酒七面山、文書史料目録3、 桜井家文書IV
三越 得右衛門	桜井吉兵衛	運輸	端裏書：桜井吉兵衛様、桜井家文書 IV
桜井吉兵衛		商業	文書史料目録3
桜井吉兵衛		商業	文書史料目録3
桜井吉兵衛		商業	表紙破損、文書史料目録3
		商業	文書史料目録3
かり主 佐平、請人 佐蔵	桜井吉兵衛	金融	端裏書：小伊木 佐平之代不足、文 書史料目録3
借用主 金吾、請人 増右衛門・ 川嶋伊三郎	御本陣 桜井辰左衛 門	金融	奥印：同村庄屋代 和明治、端裏書： 金吾 三ッ池、1～3は包紙一括、包 紙上書：弥平二 藤四郎 金吾 証 文 一卷二通入
東町 西町 立入衆中	大伊木 三ッ池 御 役人中	金融	2・3は包紙一括、包紙上書：尊様 貳拾軒入用四両がし 十月切 手形
三ッ池新田 和明治	西町 桜井辰左衛門	金融	
借主 増兵衛、加判 信次郎	桜井吉兵衛	金融	端裏書：[ 十月切 ]
借り主 喜代次、加判 清市・ 利助	桜井辰左衛門	金融	端裏書：喜代二 十二月切書付入、 文書史料目録3
借用主 利助、加判 金兵衛	桜井辰左衛門	金融	奥印：組頭 武藤嘉左衛門、端裏書： 麦代金 利助手形五月切、文書史料 目録3
借用主 松蔵、加判 弥三郎、 組庄屋 阿部源四郎	桜井辰左衛門	金融	端裏書：十二月切 □□助五両手形 正金がし、文書史料目録3
借り主 和吉、加判 喜七	桜井辰左衛門	金融	奥印：庄屋代 組頭 梅田菊右衛門・ 武藤孝四郎、端裏書：三両和吉六月 切、文書史料目録3
借用主 片桐長右衛門・伴寅治 郎、請人 坂井佐六	西町 御村役人衆中	金融	端裏書：長右衛門扶持方拾両手形入 三月切、文書史料目録3
大イ木組 借用主 岡部旧吾、 加判 岡部文之右衛門、戸長 国定良吉	桜井辰左衛門	金融	端裏書：御金十円十一月切ニ御座候、 文書史料目録3
借用主 後藤和吉、加判請人 喜七	桜井辰左衛門	金融	奥印：村役人 梅田菊右衛門・武藤 孝四郎・坂井銀司、端裏書：和吉九 月切二十円分、1銭印紙2枚貼付、文 書史料目録3
借主 武藤武助、請人 同金兵 衛・梅田藤右衛門	桜井円三郎	金融	奥印：庄屋 桜井辰左衛門、端裏書： 亥ノ十二月切 武助（朱書）、文書史 料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
157		借入金証券之事	明治8年4月20日	1875	一紙 (統紙)	1
158		借入金証券之事	明治8年12月4日	1875	一紙	1
159		借入金証券	明治9年1月	1876	一紙 (証券界紙)	1
160		借入金証券之事	明治9年旧9月18日	1876	一紙	1
161		借入金証券	明治10年旧7月9日	1877	一紙	1
162		借入金証券	明治10年8月17日	1877	一紙	1
163		借入金証券	明治10年9月	1877	一紙 (罫紙)	1
164		記(米代金借用につき)	明治10年11月10日	1877	横長	1
165		借入金証券	明治11年1月	1878	一紙 (罫紙)	1
166		借入金証券	明治11年旧7月	1878	一紙	1
167		借入金証券之事	明治11年旧8月	1878	一紙	1
168		借入金証券	明治11年12月28日	1878	一紙 (罫紙)	1
169		借入金証券	明治12年1月14日	1879	一紙	1
170		添証券	明治14年10月18日	1881	一紙	1
171		[借入金証券等綴り]			縦綴 (2点一綴り)	1
171	①	借入金証券	明治17年1月13日	1884		
171	②	抵当反別仕出し帳	明治16年1月13日	1883		
172		借入金証券之事	寅(明治11年) 1月13日	1878	一紙	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
美濃国各務郡鶴沼村 借用主 神原友右衛門、尾張国丹羽郡北山名村 加判人 三品七右衛門	尾張国丹羽郡北山名村 三品増兵衛	金融	奥印：戸長 桜井辰左衛門、 文書史料目録3
武儀郡上大野邸 借用主 丹羽政吉、同村 弁償加判 吉田修蔵	鶴沼邸 桜井吉兵衛	金融	奥印：右村戸長 吉田清六、端裏書： 大野村政吉子三月切、1銭印紙2枚貼付、 文書史料目録3
借用主 桜井左藏、請人 桜井恒八	桜井辰左衛門	金融	端裏書：左藏十一月切、文書史料目録3
借主 武藤武助、受人 梅田藤右衛門	縣半治、桜井辰左衛門	金融	端裏書：武助手形十二月切、 文書史料目録3
借用主 梅田藤右衛門、組長兼請人 武藤金兵衛、世話人 代筆 辰左衛門、請人 吉田屋政兵衛・桜井辰左衛門	□町 広瀬久四郎	金融	文書史料目録3
かり主 桜井辰左衛門、請人 吉田政兵衛	田中藤市	金融	5銭印紙1枚・1銭印紙3枚貼付、 文書史料目録3
借主 伊神竹右衛門、請人 伊藤甚左衛門、組長 舟渡文五郎	桜井辰左衛門	金融	端書：伊神竹右衛門手形、文書史料目録3
山田伊兵衛		金融	1丁めに約定証文が貼付されている、 文書史料目録3
各務村 借主 後藤善六、親類 請人 後藤九郎左衛門	鶴沼村 桜井辰左衛門	金融	端裏書：善六様三月切丑冬、文書史料目録3
借用主 清水定四郎、加判 林久四郎	桜井辰左衛門	金融	端裏書：三田定四郎 旧十月切、 文書史料目録3
□町組 吉田政兵衛	鶴沼駅 桜井辰左衛門	金融	文書史料目録3
第一大区十五小区 各務郡鶴沼村28番地 桜井辰左衛門	付知村 曾我長四郎	金融	裏面に1銭印紙10枚貼付
岐阜県下大(第)一大区十五小区 各務郡鶴沼村 借主 桜井辰左衛門、同村 弁証請人 武藤嘉左衛門	曾我長四郎	金融	奥印：右村副戸長 梅田吉平、表に5銭印紙2枚端裏に1銭印紙5枚貼付
岐阜松屋町 安藤武平	鶴沼村 桜井辰左衛門	金融	文書史料目録3
		金融	文書史料目録3
各務郡鶴沼村 借り主 桜井辰左衛門、愛知県丹羽郡稲置村 加判 吉田政兵衛	愛知県丹羽郡稲置村 田中円蔵	金融	奥印：右県用係 梅田吉平 戸長 野口一郎
各務郡鶴沼村 地主 桜井辰左衛門、丹羽郡稲置村 加判 吉田政兵衛	愛知県丹羽郡稲置村 田中円蔵	金融	奥印：右県用係、朱書：第三拾八号
大竹次郎左衛門・太郎七	桜井吉兵衛	金融	端裏書：大竹旧十月切、文書史料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
173		借入金子之事	2月5日		切紙 (包紙とも)	1
174		覚(金30円貸し下しにつき)	7月28日		切紙	1
175		キ(木代金領収書)			切紙	1
176		願出不当無之様候ハ、其序ニおゐて別紙 雛形之通繼紙証文致シ免許可致事(酒造 免許)	未(明治4年) 10月4日	1871	縦	1
177		田地相讓申証券之事	明治6年3月	1873	一紙 (罫紙)	1
178		永代売渡申野方之事	(明治6年)	(1873)	一紙 (繼紙)	1
179		譲り渡申畑地証書	明治9年子3月	1876	一紙 (罫紙)	1
180		売渡申林山 証券	明治9年子4月	1876	一紙 (繼紙)	1
181		記(宅地・家屋売買約定書)	明治11年12月28日	1878	一紙 (罫紙)	1
182		雛形(建物・坪数)			一紙	1
183		記(金子請取)	1月31日		切紙 (罫紙)	1
184		覚(金6円借用につき)	4月5日		切紙	1
185		覚(金22円請取につき)	4月7日		切紙 (繼紙)	1
186		覚(酉年よりの諸帳面等につき)	寅2月12日		一紙	1
187		安政六未八月五日御陣屋おゐて散田御不 同免御定免ニ御免許被成下夫ニ付内勝割 付方差入組ニ付勘定書差上置候控	安政6年8月	1859	縦	1
188		安政六未年散田御不同免分御定免ニ相成 ニ付左之通御免定写し	安政6年	1859	一紙	1
189		[散田不同免御定免立替覚]	未8月		縦	1
190		去午年御定免御不同免共二口ノ左之通り			縦	1



作 成 者	宛 先	分類	備 考
南町 文介、巾町 平十	桜井辰左衛門	金融	端裏書：文介手形、包紙は文書と無関係、虫喰い多い
政吉	鶴沼 辰左衛門	金融	
大竹	西町 桜井	商業	
		勸業	名古屋県太田出張所の触書の写し
大安寺 惣代 借り主 桜井辰左衛門、世話人 武藤嘉左衛門	横山次郎左衛門	家産	余白書入れ：此通り明治十年丑新六月七日相認メ遺之候 尤此節大安寺ニおゐて野口一郎同利三郎武藤嘉左衛門夫々立合取計候也
西町 村方頭百姓 惣代 坂井儀蔵 ほか9名	榊原友左衛門	家産	
売主 薫田庄左衛門、加判 請人 磯野武吉、役印 磯野清吉	御苗金平	家産	
売主 桜井辰左衛門	山田円右衛門、山田定右衛門、山田清兵衛、伊藤友右衛門	家産	奥印：戸長 坂井銀右衛門
第一大区十五小区 各務郡鶴沼村 桜井辰左衛門	付知村 曾我長五郎	家産	
		家産	不動産関係
国定寅吉	桜井辰左衛門	金融	
大竹吉右衛門	桜井、監一	金融	
大竹吉右衛門	桜井辰左衛門	金融	
順助、東助、億二郎、原四郎、佐蔵		商業	
		貢租	
		貢租	
勘定奉行 成瀬加兵衛、内藤嘉左衛門、浅野教五郎、吟味頭取 千村三四郎、白井新之丞、森田七右衛門、西尾才助	代官 吉田次郎吉、元ノ 藤井七左衛門、坪内平左衛門、伊藤勘三郎、鈴村八五郎、落合、広瀬	貢租	
		貢租	

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
191		御検見雑用覚			縦	1
192		御目紙之写 (不同免年限継)	寅8月		一紙	1
193		内訳免再考調	未8月		縦	1
194		覚 (御居米覚)	11月14日		一紙	3
195		記 (名前送りにつき)	明治12年1月30日	1879	切紙 (野紙)	1
196		願 (娘の縁談破談の願い)			一紙 (野紙)	1
197		普請に付在志金記			一紙	1
198		三都大芝居浜芝居子供芝居惣役者大見立 (歌舞伎役者番付表)	安政3年正月	1856	38.0×57.8	1
199		三都大芝居浜芝居子供芝居惣役者大見立 (歌舞伎役者給金番付表)	慶応2年寅正月	1866	37.0×60.6	1
200		三都大芝居浜芝居子供芝居惣役者大見立 (歌舞伎役者給金番付表)	慶応4年辰正月	1868	35.0×58.6	1
201		女中籠置所 (紙札)			切紙	1
202		郵便絵はがき (中仙道売間駅古図)			はがき	1
203		[短歌短冊]	(近代)		短冊	17
204		[犬山城関係資料]			17.2×23.0	1
205		惣高御下向免願之節下書絵図	明治3年8月	1870	55.4×99.8	1
206	1	[鶴沼宿本陣間取図]	文久3年6月	1863	74.4×56.9	1
206	2	[鶴沼宿本陣家相図]	文久3年6月	1863	75.5×82.7	1
207		鶴沼宿家並図			計測不可	1
208		濃州鶴沼宿附助郷絵図			60.4×72.1	1
209		各務郡鶴沼村絵図			42.8×95.8	1
210		[鶴沼宿・加納宿間絵図]			24.7×200.8	1

作 成 者	宛 先	分類	備 考
		貢租	
		貢租	
		貢租	
内田綱太郎	鶴沼村西町組	貢租	
付知村 曾我長五郎 代理 熊 谷金吉	鶴沼村 桜井辰左衛 門	家	
		家	6枚
		社会	
尾張屋松次郎 板		文化	文書史料目録3
京四条通寺町西入 高野屋勘兵 衛 板		文化	文書史料目録3
京四条通寺町西入 高野屋勘兵 衛 板		文化	文書史料目録3
		交通	裏に桜井吉兵衛と書かれた付箋貼付
		文化	未使用
		文化	木箱入り
		文化	近代の印刷物、1か所留、2枚はがれ、 文書史料目録3
		土地	彩色、文書史料目録3
中山道 鶴沼宿 御本陣 桜井吉兵衛 控		家	1・2は包紙一括、包紙上書：癸文久 三亥年六月吉日 御本陣絵図面入 鶴沼宿 桜井吉兵衛、文書史料目録3
		家	文書史料目録3
		交通	文書史料目録3
		交通	彩色、文書史料目録3
		村政	彩色、文書史料目録3
		交通	彩色、文書史料目録3

番号	枝番	史料名	年代	西暦	形態	数量
211		[日本全国地図]	文化8年7月	1811	40.5×56.1	1
212		大日本道中細見記	慶応4年7月	1868	35.2×193.8	1
213		[鶴沼宿本陣間取図]			87.8×63.3	1
214		[鶴沼宿本陣間取図]			84.2×60.8	1
215		[鶴沼宿本陣間取図]			87.2×63.1	1
216		[鶴沼宿本陣間取図]			88.5×63.1	1
217	1	[鶴沼宿本陣建物図] (外観図)			38.8×89.7	1
217	2	[鶴沼宿本陣建物図] (外観図)			27.4×39.9	1
218		[鶴沼宿本陣間取図]			42.9×30.9	1
		包紙				6

作 成 者	宛 先	分類	備 考
東都 書舗 合梓		交通	彩色、天保8年9月再刻、文書史料目録3
原板 三河屋鉄五郎、求版 日本橋通3丁目 糸屋庄兵衛		交通	彩色、地図、文書史料目録3
中山道 鶴沼宿 御本陣 問屋 桜井吉兵衛		家	
		家	彩色
鶴沼宿 本陣 問屋 桜井吉兵衛		家	下書き
中仙道 鶴沼宿 御本陣 問屋 桜井吉兵衛		家	一部彩色
		家	
		家	
中仙道 鶴沼宿 家主 御本陣 問屋 桜井吉兵衛		家	部分か
			1点は断簡を糊付けして袋状にしたもの（戊2月）

各務原市資料調査報告書 第44号

旧中山道鶴沼宿本陣桜井家文書目録

平成30年3月

編集 各務原市歴史民俗資料館  
〒509-0132 岐阜県各務原市鶴沼西町1-116-3  
発行 各務原市  
〒504-8555 岐阜県各務原市那加桜町1-69  
TEL.058-383-1111(代)  
印刷 山興印刷株式会社













